

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地理歴史	地理B演習	4	3年次・文系	内山 直希			
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）		使用副教材	詳解現代地図（二宮書店） フォトグラフィア地理図説（とうほう）			
科目の目標				道徳教育のねらい			
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。			
市函DP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察							
1	2章 現代世界の諸地域		○	○			
2	3章 現代世界と日本	○		○			
第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技術							
3	1章 地理情報と地図	○	○	○			
4	2章 地図の活用と地域調査	○	○	○			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察							
5	1章 自然環境	○	○	○			
6	2章 資源と産業	○	○	○			
7	3章 人口、村落・都市	○	○	○			
8	4章 生活文化、民族・宗教	○	○	○			
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察							
9	2章 現代世界の諸地域	○	○	○			
10	3章 現代世界と日本	○	○	○			
11	グループワーク	○		○	◎	◎	
12	課題提出	◎		○		○	○
13	考査		○	○	◎		○
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解	
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。	

地理B演習 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域(27)	・西、中央アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	5節 西アジアと中央アジア(3)		
	5月		・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、自然や歴史的背景などの観点から二つの地域を比較して考察する。	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(3)		
	6月		・ヨーロッパとロシアについて、自然や産業、日本との関わりなどの事象を項目ごとに整理して考察する。	7節 ヨーロッパ(5) 8節 ロシア(3)		
	7月	前期中間考査(1)	・アングロアメリカについて、自然や産業、国際社会との関係に留意して考察する。	9節 アングロアメリカ(4)		
	8月 9月		・ラテンアメリカとオセアニアについて、文化や産業などの事象を歴史的背景と関連づけて考察する。	10節 ラテンアメリカ(4) 11節 オセアニア(3)		
		前期期末考査(1) 第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図(3) 2章 地図の活用と地域調査(2)	・現代世界における日本について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の日本のあり方などについてまとめる。 ・地図の種類や特性、地域調査等について、演習問題に取り組み、理解を深める。	1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3) 2節 日本の抱える課題の追究(1.7) 1.2節 地図の発達、種類とその利用(1) 3節 地理情報の地図化(2) 1.2節 地図の活用と地域調査(2)		
後 期	10月	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境(17) 2章 資源と産業(17)	・自然環境について、演習問題に取り組み、理解を深める。 ・世界と日本の資源と産業について、演習問題に取り組み、理解を深める。	1.2節 世界の地形と気候(8) 3節 日本の自然の特徴と人々の生活(4.5) 4節 環境問題(4.5) 1.2節 世界の農林水産業と食料問題(5) 3節 世界のエネルギー・鉱産資源(3.5) 4節 資源・エネルギー問題(3.5) 5節 世界の工業(4) 6～8節 第3次産業、交通・通信と貿易、経済圏 (1)		
	11月	3章 人口、村落・都市(10) 4章 生活文化、民族・宗教(9)	・世界や日本の人口問題と村落や都市とその居住問題について、演習問題に取り組み、理解を深める。 ・生活文化や民族・宗教と領土問題について、演習問題に取り組み、理解を深める。	1.2節 世界の人口と人口問題(5) 3.4節 村落と都市、居住問題(5) 1.2節 世界の衣食住、民族と宗教(5) 3.4節 現代世界の国家と領土問題(4)		
		第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分(0.7) 2章 現代世界の諸地域(29.3)	・世界各地域の自然や産業、文化等と日本との結びつきについて、演習問題に取り組み、理解を深める。	1節 地域区分とは何か(0.7) 2～5節 アジア(6.3) 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ(3.5) 7,8節 ヨーロッパ、ロシア(10) 9,10節 アングロ、ラテンアメリカ(7) 11節 オセアニア(2.5)		
	12月 1月	後期中間考査(1) 3章 現代世界と日本(2)	・現代世界と日本について、日本が抱える地理的な諸課題の解決や将来の日本のあり方などについてまとめる。	1節 日本が抱える地理的な諸課題(0.3) 2節 日本の抱える課題の追究(1.7)		